# NDO 法人 やまぼうし 自然学校 ニューズ しター 2010年

春号



飛び出せ、森へ!(菅平高原)



長野県外の林間学校中に水での悲惨な事故が起きてしまった。昨年は登山ガイドの判断ミスによる死亡事故だったが、今回は私たちのような自然学校のスタッフの指導中の死亡事故となった。新聞書面で、事故が起きる原因が簡単に読み取れる。フィールドや活動内容が異なる私たちでさえ問題点が挙げられるのに、何故?どうして?何があったの?と思わずにはいられない。「魔が差した」では済まない。事故は不安全な状態と行為が重なったときに起きてしまう。野外活動の盛んな季節を前に、安全管理の再確認を急ごう。

発行:特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校

住所: 〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751

TEL: 0268-74-2735 FAX: 0268-74-2795

Email: info@yamaboushi.org URL: http://yamaboushi.org

## スタッフよりひとこと



#### 瑞慶覧明子(ずけちゃん)

初心者大歓迎の大会があるよ!バドミントン仲間からの連絡。ワールドカップのピッチで、燃え立つような選手の表情に身震いする今日この頃。忘れかけていた勝負魂が、ちょっとだけ呻き声をあげた(気がする)。森に浸る日々。ひさびさの勝負事で、眠っていた瞬発力が日を覚ますかな。



#### 佐藤明希(あっきい)

「こころを込めて手仕事をしていると、何気なく作業をするより脳が活性化する」という。誰かの喜ぶ顔を想像しながら、出来上がりを楽しみにしながらの手仕事は楽しい。「めんどくさい、疲れた」を連発する子どもたちにも、この楽しさを味わって欲しいなと思う。今年は仲間と、醤油と梅干しづくりに挑戦中!



#### 武重芽里(めりちゃん)

冬と夏、2人の将軍が争って春ちゃんの出番が短かかった5月。あっという間に芽吹く森にあれよあれよと驚き喜び、気がついたらササダニにお腹を刺されていた6月。7月はどんな月になる&する事でしょうか。雨が多かった昨年の夏。今年は好天に恵まれますように!



#### 西澤純子(じゅんじゅん)

日に日に緑色付く木々、室内から眺めるだけよりは、その匂いや色、音などを全身で感じていたい。久々に外の空気を思いっきり吸って、太陽の光を浴びる。なんて幸せなんだろう!と全身が生き返る。キラキラ眩しい外を見ながら、何をするにも健康な体あってこそと実感する毎日です。(骨折により入院中)



#### 保母裕美(ほぼちゃん)

30 うん年前、おんぶして入った聖高原の林に「ちょっと待ってろよ」と下ろされた私。「あった~!」とワラビを手にした昔話を聞き、1 才の息子と峰の原スキー場へ行ってみました。枯枝と松ぼっくりを手に元気よく歩き、急斜面では怖がりもせず草むらにしゃがんで母は何をしてるのか?とじっとしている姿。タイムスリップしてきたようでした。



#### 石川順子(じゅんちゃん)

講座開始で首都圏業務も多忙な日々が続いている。下見や本番で近郊の低山に しばしば訪れる際の楽しみが、「スカイツリー見っけ」。高尾山から、景信山か ら、天覧山から…。双眼鏡でばっちり、天気が良ければ肉眼でも。そして先日 はなんと!業平駅前の旅行社の会議室から超マクロに。さて次回はどこから?



#### 仲川好乃(よっちゃん)

職場の中庭に黄金に輝く一角が・・ 思わず誘われ近づいてみると なんと! たわわに実ったあんず!!! その場を直ぐ立ち去ることも出来ず 久しぶりに 至福の時を過ごしました。 あんずは、どうしたかですか?もちろん・・^О^



#### 長谷川功(はせじい)

超繁忙期を前に、口蹄疫の問題で菅平も影響を受けています。牧場内のワラビ採りの全面禁止、散策コースの一部進入禁止やルート変更、道路への石灰散布、そして、ふれあい牧場からは羊がいなくなりました。人智って、なんだろうと思います。生産性、効率、スピードなどを求めるだけでよいのでしょうか・・・。

### 10周年に寄せて

今年で NPO 法人認証 10 年を迎え、11 年目のスタートをきった。任意団体設立時から数え て代表は私で4代目となる。ここでやまぼうし自然学校の10年を簡単にふり返りたい。

1996年 1997年 2000年	森林インストラクターを中心に任意団体として活動開始 森林インストラクター養成講座開始 長野県第 1 号の環境系 NPO 法人として認証、自然体験活動推進協議会設立
2001年	現代表・副代表理事森林インストラクター養成講座受講 やまぼうし自然学校契約インストラクター制度開始
2002年	常勤スタッフ 1 名採用(加々美) 長野県行政と NPO の協働に関する検討会委員、長野県森林審議会委員 中部森林管理局地域別森林計画等検討委員会委員 CONE 指導者養成認定団体承認、全国森林インストラクター会理事 長野県学習旅行誘致推進協議会真田支部設立
2003年	現事務局長森林インストラクター養成講座受講 自然体験の森整備、サマーキャンプ開始(後サマーキャンプ in 信州へ発展)
2004年	常勤スタッフ3名採用(瑞慶覧ほか) 自然体験インタープリテーションテキスト制作、東京支部スタッフ登録開始 上高地白樺自然学校開校、長野大学とインターンシップ開始 長野県職業訓練コース受託 地域子ども教室開始(後森でモリモリ遊び隊へ発展)
2005年	常勤スタッフ2名採用、会員制度改革(インタープリター会員登録開始) 東京支部イベント・講座開始、埼玉支部子ども教室開始
2006年	常勤スタッフ 4 名採用(佐藤ほか)
2007年	小松崎昌美事務局長逝去
2008年	常勤スタッフ 1 名採用(長谷川) 役員交代新生やまぼうし稼動、上高地ガイド協議会設立
2009年	常勤スタッフ 3 名採用(武重・西澤ほか) 平成 21 年度長野県ふるさとの森林づくり県知事賞受賞
2010年	10月9日、10日 NPO認証 10周年イベント開催

多くの方に支えられた 10 年への感謝の気持ちと、これからの 10 年に向けた期待と不安が交 じり合っている。これまでの10年、実施プログラムなど活動そのものは社会のニーズにより発 展的に変わってきているが、芯にある「森を楽しみ、森でつながる」部分は変わっていない。

「比較森林文化論」をご存知だろうか?「森林を見ればその地域の文化や歴史や暮らしが見え る。森林にはその地域や風土が凝縮されていて、土地の文化や文明が森林に反映する。」恩師北 村昌美山形大学名誉教授が提唱している説だが、やまぼうし自然学校の活動も「菅平高原」をフ ィールドに 10 年が過ぎ、「菅平高原」で「やまぼうし」が「森」に働きかけ、「やまぼうし風の 森」に変わってきている。そこでは子ども達の元気な声が頻繁に響く。地域の特色を生かし、地 域のニーズに応えつつ、子ども達には森の素晴らしさを伝える「やまぼうし自然学校風森の文化」 の創出と継承を目指したい。今、各地で森林をフィールドに多くの仲間 が活躍しているが、地域に合った森の文化ができ、森に入る機会が増え、 地域の子ども達に受け継がれる事を願っている。それが結局は森を守り、

但し、人間本位にならず、人間も生態系の一部だということを忘れずに。 文・加々美 貴代

### イベントレポート 東京支部

【奥武蔵自然観察会 10.05.15】

東京支部の倶楽部イベントである自然観察会は、冬期間は街中 観察会を実施していましたが、今回は久しぶりに山歩き観察ハイク を実施しました。場所は奥武蔵、秩父に近い飯能・日高地区。歴史 まつわる天覧山から巾着田まで、約10キロ行程の標高300M に満たない入門コースの低山歩きでした。



雨オトコも何処へやら、絶好の天候に恵まれました。ところが 「初孫が生まれそう・・・!」などなど、うれしいハプニング もあり、当日キャンセルが数名。それでもめげずに中央公園 にて開会し、「能仁寺」へ。ここは戦国時代からの古刹で、

文・丹野 雅之 (O3 年度講座受講生 やまぼうし自然学校理事)

徳川幕府の庇護で降盛しましたが、幕末の飯能戦争(彰義隊分派の振武軍)で焼失し 昭和11年に再建された寺です。落ち着いた佇まいに、しばし浸りました。

続いては、飯能市の花である「つつじ」咲く道を、徳川幕府五代将軍綱吉の生母・ 桂昌院が寄進した十六羅漢を経て、明治天皇が近衛兵訓練を統覧したことで名づいた 天覧山(195M)へ。山頂からは、富士山、都心のビル群やスカイツリーも。



ここから一旦下り、里山風景の美しい谷戸を通って、 絶世の美女といわれる義経の母・常盤御前が美しい風景 に振り返ったといわれる「見返り坂」。ここには、牧野 博士の命名による固有種「ハンノウザサ」もありました。 クサリ場もある男坂をつめると、三角点のある多峰主 (とうのす) 山(271M)。12000個の経石が埋めら れている経塚のある山頂からは、奥武蔵の山々や秩父の 名峰・武甲山も望むことができます。下りは、名君・黒

田直邦候の墓、鼻をつまんで七回りの祈願が行われたという「雨乞い池」、さらには 先の常盤御前が源氏の再興を願って地面に差した杖が根づいたという竹が茂る「よし だけ」を経て、人工林と雑木林が混在する尾根道を行きました。

午後は、秩父に通じる国道を越えて、もうひとつの尾根に取りつきました。のんび り歩ける尾根道で、当地のキャラクター「キンチャクくん」の自然教室という自然案 内板を訪ねながら進みます。途中、奈良時代に関東地域に居住していた高句麗渡来人 を移住させて高麗(コマ)郡とした地、高麗(コマ)峠(177M)を通りました。

山を下りるとそこは巾着田。木造トラスト構造では日本一の「あいあい橋」を渡れ ば、のどかな田園風景が広がります。高麗川が蛇行して巾着袋状になった自然の造形 です。今は休耕田が多いですが、高句麗人の優れた土木・農耕技術で開拓された地。 秋には一面のヒガンバナで有名です。22ha の中を一巡りして、お開きとなりました。 奥武蔵は、今後も本イベントのシリーズとして加えていきたい、魅力ある場所でした。3

がると信じて。

## 10周年記念イベント

やまぼうし自然学校が菅平高原に根を下ろして 10 年が経ちました。地元の方々、会員、 保護者、学校の先生、森好きな仲間、そして子ども達との出会いがこの 10 年を支えてくれ ました。これまでのつながりに感謝し、これからの可能性に心躍らせながら、10周年記念 イベントを開催いたします。たくさんの方のご参加、ご協賛をお待ちしています。

■とき : 2010年10月9日(土)、10日(日)

■ところ: 9日 菅平高原 自然体験の森

10日 菅平高原一帯

■イベント内容(予定)

9日 やまぼうし自然学校活動紹介・豪快焚き火料理・乗馬体験 菅平高原のうまいもの出店・森の恵みのクラフト販売

ギネスに挑戦 など

など

10日 ネイチャートレイル・根子岳登山・森遊び

10周年記念植樹・クラフト体験

協賛金:101000円 (何口でも受付いたします) ※協賛金は、主にちらし製作費・通信費に充てさせていただきます ※ご協賛いただいた個人・団体のお名前やご連絡先などを 10 周年イベント広告ちらしに掲載させていただきます

### 菜園便り

やまぼうし自然学校では、昨年より2か所で菜園をやっています。1か所は、菅平高原の 自然体験の森の一角。もう一か所は、旧真田町でやまぼうし自然学校理事の西澤さんに提供 していただいている畑です。昨年は、菅平で大根・トウモロコシ・ミニトマト・キュウリ・ ジャガイモ、真田でサトイモ・つるなしインゲン・ナス・ピーマン・シシトウ・大葉・カボ チャ・タマネギを収穫することができました。今年は、昨年の品種に加えて真田でハツ頭・ 食用菊・サツマイモも植えてみました。

この畑でとれた野菜は、キャンプでの焚き火料理の材料になる他、菅平の畑では子ども達 が収穫体験を楽しむことができます。昨年は大豊作。今年もキュウリ以外は順調です。特に 植えつけ面積を増やしたジャガイモの収量に期待しています。現在は行われていませんが、 管平は数十年前に種ジャガイモの大生産地だったそうです。そんな管平で、秋には収穫祭が 盛大にできるくらいの量がとれたら、とてもうれしいです。

時には獣のエサになってしまうこともありますが、大勢の 地元の方々、会員の皆さんにご指導とご協力をいただいています。 子どもたちの笑顔を思いながら、皆で精を出しています。

追伸:ご自慢の野菜の差し入れは、大大歓迎です。

(文・長谷川 功) 今後ともよろしくお願いします。

## 森でモリモリ遊び隊

### 3月21日 雪の家づくり(09年度最終回)

お父さん、お母さんの力も借りて、大きな雪の家(イグルー) をつくりました。焼きリンゴのおやつも絶品でした!

### 4月23、25日 10年度 事前説明会

### 5月9日 ネームプレートづくり、森遊び(10年度第1回)

はじめましての緊張の顔、今年も遊びまくる!と元気いっぱ いの顔が勢ぞろい。間伐材のネームプレートを胸に、たっぷり 森遊び。よもぎ蒸しケーキも、焚き火でおいしくできました。



みんなの後ろに、大きな家が!



ふんわり大きな よもぎ蒸しケーキは春の味!



## フォレストキッズ

#### 5月1日 アイスブレイクゲーム

新しい出会いが始まり、アイスブレイクゲームはお父さん お母さん、みんなで楽しみました。

### 5月29日 日和田山登山

たくさんの発見と、岩場もあり、全身をつかってのゆっくり のんびりの登山。出発前は「え〜、山登り〜×△#☆♪〜」でしたが 下山後は「また登りたい!」とリクエストの声。また計画する約束をしました。

手も足もいっぱい



あっという間に仲良し!



小休止…

## 体験学習レポート

『鴻巣中学校の3日間 ~やまぼうしと学校との協働作業~』

先生から、小強いメッセージが届いた。

「やまぼうしさん」は子どもたちにとって「自然の森の使者」のような存在だと思います。自然が大好きで、動植物が大好きで、子どもが大好きで…。

素人の提案かもしれませんが、「やまぼうし自然学校」のプログラムには、まだまだ無限の可能性があると期待しています。林間学校の出来事が「自然の素晴らしさ」に一人でも多くの生徒に感動を与えられればと願っています。

やまぼうし自然学校を中心に「自然大好き」な子どもづくりに微力ではありますが 中学校現場も協力させていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

2002年にスタートした「林間学校」が、9年目を迎えた、その打合せ。

「窯ピザの上限人数増やせないかな~。1クラス限定だと、先生同士でけんかになっちゃうよ。」 "オレがやりたいのはこれ。その楽しさを伝えられるのはオレだ!" という気概たっぷりの先生のニヤリ顔に、こちらも気合が入る。そして、流れに乗る森三昧のプログラムが決まった。

- 1日目 ネイチャートレイル
- 2日目 薪づくり体験&薪積みコンテスト、青竹クーヘン
- 3日目 縄文式火おこし&窯ピザづくり、森遊び

森を浴び(1日目)→森を利用し(2日目)→森と遊ぶ(3日目)。

当日までの準備期間、頭にあるのは学校の名前と 240 人という生徒数。 その日を迎え、学校名と数字はすっ飛び、ひとりひとりきあえることに身ぶるいがする。

エコマーク、エコドライブ、クールビズ、都心のタクシーにはプリウスが増えた。 TV、雑誌や商品で、生活のひとコマと森がつながるようになった。 必要なのは、情報を消化し自分の言葉や行動に変える力。 やまぼうしの体験学習は、その力を生み出す装置だ。 インタープリターという"ボタン"を使い、森の力を自分で発見できる機能もそなわっている。

今年で 10 周年のやまぼうし。 やまぼうしでの体験学習がきっかけで、 仕事と森がつながりました! そんな声がそろそろ聞こえてきてもおかしくない。

文・瑞慶覧 明子





### 信濃毎日新聞に、掲載されました

代表理事 加々美が寄せた原稿が、信濃毎日新聞に掲載されました(2010.6.3..)。 今後も3~4ヶ月おきに、掲載される予定です。

#### 「五感を使い 新たな魅力さがし」

芽吹きの頃の山の美しさをご存知ですか。褐色の世界が、春のひと雨ごとに素敵に変身しています。昨日の山と今日の山ではもう異なった表情をしているのです。

芽吹きの頃、山は様々な色で彩られます。こんなにたくさんの種類の木々が存在するのだと再認識する季節でもあります。単に「みどり色」では表せないほどの豊かさが山一面に広がっています。

例えばシラカバの鮮やかな黄緑は、樹皮の白色とのコントラストにより実にみごとな色を呈しています。それ以外にもイタヤカエデの赤味を帯びた緑、長野県を代表するカラマツの爽やかな緑、ミズナラの白みがかった緑など枚挙に暇がありません。

緑系の日本の伝統色を数えると 20 種類はあるそうです。英語で単に「green」と表現される「みどり色」。日本の伝統色で例を挙げると「柳色」「萌葱」「浅緑」「青竹」「若葉色」・・・。これだけ繊細に使い分けているのは、四季折々で色の変化が美しくも激しいことに由来するからではないでしょうか。

長野県の森林は、水平方向の気候帯で分けると冷温帯で、落葉の広葉樹林が多く分布しています。沖縄などは亜熱帯で多雨林(マングローブなど)、本州南部は暖温帯で照葉樹林(アラカシ、クスノキなど)、北海道東部は亜寒帯で常緑針葉樹林(エゾマツなど)が分布しています。森林の分布は水平方向(緯度)によっても、垂直方向(標高)によっても異なります。特に標高による違いは明瞭で、長野県のように標高差が大きい地域では、南の暖温帯の森から北の亜寒帯の森まで見ることができます。様々な森を楽しむには絶好の地域であり、今は絶好の時期でもあるのです。

この季節ならではの楽しみ方として、少し標高の高い所へのドライブや登山があります。市街地は既に緑も濃く、葉っぱは、太陽の光を元気いっぱいに浴びて日々成長していますが、少し標高が上がるだけで違った緑に出会えます。身近なところで上田→真田→菅平高原ルートや、東御→湯の丸高原→池の平ルートがおすすめです。更に標高を上げると、根子岳や四阿山、湯の丸山に烏帽子岳、東西篭ノ登山。今年は寒い日が多く、根子岳のミネザクラは現在(5月27日)8合目が満開で、頂上付近はつぼみの状態です。下界のサクラは葉桜と呼べる時期をとうに過ぎていますが、山では今が見ごろを迎えています。



遠景としての山・森ではなく、 もっと近くでシラカバの黄緑と ダケカンバの赤茶、シラビソや コメツガの深緑が織り成すコン トラストの美しさを楽しみに 出かけてみませんか。

(写真:春の里山@上田市傍陽)

## 「お~い、森!」~森だくさんな講座~

森からのエネルギーに後押しされて、お~い、森!講座、元気に開講中です!

### 今後の開講スケジュール

参加費 各回 3,000 円

- ◆8月 7日(土) 北信州の森歩きと自然観察~亜高山帯の森とブナ林~
- ◆8月 8日(日) 森の昆虫オモシロ話 講師:町田龍一郎 氏(筑波大学)
- ◆8月28日(土) 森林浴発祥の地で、ヒノキの森の観察
- ◆8月29日(日) 木曽福島の城山散策&自然観察





## 森を楽しむ講座~森林インストラクターを目指す、月イチ講座~

都会の素敵な森には、新発見と出会いがいっぱいです。8月の講座は、長野会場と合同で行います。情報交換盛んな、夜の交流会が一番勉強になるとのうわさも・・・!

#### 今後の開講スケジュール

参加費 各回 3,000円

- ◆7月3日(土) アウトドア概論・キャンピング(野外活動・理論) 企画の立て方(野外活動・理論&実技)
- ◆7月4日(日) キャンピング・焚き火・ネイチャークラフト(野外活動・実技)
- ◆8月7日(土) 亜高山帯針葉樹、ブナ林観察(林業・理論)、 各教科ポイントのまとめ
- ◆8月8日(日) 森林の昆虫(森林・理論)講師:町田龍一郎 氏(筑波大学)
- ◆8月28日(土) ヒノキの森観察(森林・実技) キーワードのまとめ
- ◆8月29日(日)森の動物と私たち(森林・理論) √ 模擬試験または城山の散策
- 特別編 **小学校長期宿泊体験学習指導者研修**(補助指導者養成講座)
  - · 9月25日(土) 10時開始
- 参加費 1,000円 定員30名
- ・会場 新宿エコギャラリー
- ・講師: 平野直吉 氏(信州大学)

### いちおし自然体験

### 大人の炭焼きキャンプ



スタッフがずうっとやりたかった、大人のキャンプ。いつもは出来上がった炭のかき出しのみの体験だった炭焼きを、材の立て込みから体験してほしいと企画した3日間。初日に出しあった「やりたいこと」は、昼寝から登山まで、全部やってしまいました!夜が予想以上に寒く、焚き火を焚いて熱燗とホットワインの力が及ばず、早々にお開きになってしまったのが残念。たくさん笑い、飲み、食べた3日間の一部をご紹介!

- ゼロからの炭焼き 樹皮の美しさを観察しながら材を立て込んで、口炊きをし、最初は必死で風を送って温度管理をすること 2 晩。キャンプ 3 日目には、つなぎとマスクに身を包み、アツアツの炭をかきだしました。消し粉まみれの炭篩も
- 頑張ったら、 カランカランと いい音の炭が、 たくさん 出来上がり ました。

- 至福の昼寝タイム 森をお散歩した後、お腹もいっぱいで日差しが心地よい午後、芝生にゴロン。
- 大人の夜会 焚き火を囲んでの語らい、 「ゴロピカ」のファイヤー ショー、そして満天の星!
- 大人の焚き火料理 生地から手づくり・蕗味噌 餃子、ピザ、お焦げ付きお 釜ご飯、ひじきの煮物…
- 森で、山で、大騒ぎ 森探検、スリル満点の残雪 ソリ、山菜採り、早朝登山。 子どもに戻って大騒ぎ!







> 寒い、寒い冬が終わり春になった、そして季節は夏へと変化してゆく… それなのに、それなのに私は・・・・五月病になったらしく、頭が重く 何もする気にならない。書いていた童話は一行も進まなくなり、 くしゃみと鼻水と共に脳みそが飛び散ってしまったようだ。

> > これではいけない…そう思った私は5月中旬に旅に出ることに…

テーマ:野宿で四国八十八箇所をお遍路する…小さなバイクに乗って…

4週間の旅を終え長野に戻り、旅の記録を"四国遍路の旅"としてプログで連載中… そんな私のプログをやまぼうしが、なんと紹介してくれるというではありませんか。 そこで記念に新作童話をアップします。「ねこのごはんがランチになった」 (http://blogs.yahoo.co.jp/d804yamasaki/15741335.html) 自信作です。 ぜひ読んでください。それではご感想お待ちしております、です。

山ちゃんのブログ : http://blogs.yahoo.co.jp/d804yamasaki

山ちゃんのメール : k.yamasaki@sea.plala.or.ip

## やまぼうしインプリ発信

### 焼岳の噴火 : 松田俊雄



やまぼうし自然学校理事 上高地白樺自然学校インタープリター 幼い頃より信州の自然に遊び、北アルプスなどの山 歩き岩登りにいそしむ。"机上理論より体験を"を モットーに退職後も県内外各地に足を運ぶ。

私たちも編集にかかわって、今年の3月末日に上高地ガイド協議会が上高地ガイドマニュアルを発行しました。今後の上高地のガイドの質を上げていく、重要な資料になるものですが、さらに今回は、最近偶然に得た興味深い資料を参考に、昭和37年の焼岳噴火について貴重な写真も載せ語ってみます。焼岳小屋が吹飛ばされ、命からがら脱出して救助された記録などが元ですから、より精細な焼岳を知ることができることでしょう。

### 昭和37年(1962年)6月17日

22 時 05 分 安曇村役場の宿直者のもとに上高地郵便局より

「今、焼岳が爆発して家がゆれている」との第1報が入る。

22時 15分 案内人・園原氏より「焼岳小屋が危険と思われるから村に

おいて考慮されたし」の連絡あり。

当時小屋には上條計利・上條武 2 名の職員が居た。このように爆発から 30 分も経たない間に村では村長はじめ主だった人達に連絡、村長命令で 消防団による救助隊まで結成している。

24 時 30 分 総務課長、上高地着ただちに西穂に向う。

上高地より3人出発するもガスなど条件悪く小屋に近寄れず引き返す。

西穂小屋より救助に向うが近寄れず引き返す、2人の安否最悪。

18 ⊟

01時10分 2人が現地に向う、新しく2ヵ所くらい火口が出来てまだ盛んに噴いている、

小屋には客2人も居るらしい(誤報)大正池の客1人不明(誤報)。

今、飛行機が上空を飛んでいる、地鳴りが激しく恐ろしくて小屋に近寄れず引き

返す、小屋の人達は絶望の見込みが強い。

02 時 25 分 上條計利…救助・足負傷、上條武…頭部負傷・不明絶望的、計利氏を西穂山荘へ

収容計画との連絡。

O3 時 37 分 計利氏発見模様…爆発音と同時にジュースの箱(木箱)を頭にかぶり寝間着のまま

逃げた、そのさい武氏を呼んだが 1 回目は返事をしたが 2 回目の時には大きな石が小屋に落ち返事も無かったので絶望的とみられる計利氏は足に負傷したが 夢中で西穂小屋方面に逃げ途中で座り込んで居たところを第 2 回敷助員によって

発見される。

08時10分 西穂高山荘と連絡…現在12ケ所より噴火している風の状態により灰は岐阜県側に

流れている。

10時30分 焼岳小屋を見た総務課長からの報告

小屋は落下石により破壊され柱が建っているのみで地面も2尺(約30 cm)位沈むしている。上高地からの登山道は不可能らしい、小屋の中を見たが武氏らしき者は

見当たらない。

13 時 40 分 県警よりの連絡…武氏、岐阜県において無事収容とのこと。

15 時 45 分 神通川砂防事務所との連絡。本人は非常に元気である … … 。

以上が噴火から被害者 2 人が救出されるまでの安曇村役場の大まかな記録です。それでは、重傷を負った上條武さん本人の恐怖体験を覗いてみましょう、これは 何年か後に上條武さんが安曇小中学校先生方の研修会において講演された「山に生きる」の内容を参考にしたものです。(講演の話し言葉のまま、抜粋して掲載します)

### 焼岳の大爆発

爆発があったのは、6月17日の夜でしたが、あの日は天気が良くて、ちょうど満月だったです。登山者は30人ばかしいたですが泊まりのお客さんはいなかったです。… ラジオをきって寝ようとしとったんです。 … 突然グラッグラッときまして上下動なんで、それっというわけで小屋をとび出したんですけど、ものすごい火山弾が降ちてくるわけです。これはいけないってんで、また小屋へとびこんで勝手場の奥にかくれました。 右の腿に大きな石が当って血が噴き出とる。見ると骨が出とるんです。 … 頭もやられた。これはもうダメだと思いました。

… が おそらく 1 時間ばかしたったと思うんですが、地鳴りがすこし少なくなってきて 火山弾の落ち方も少なくなったので、よしっ、今だ、という気持で、つぶれた小屋の下から はい出しました。

…… 傷ついた両手だけが頼りで、はいずって下りるわけですが、何度も滑り落ちて、ああ、これで死んだと思って落ちていく。下へ落ちて苦痛をこらえて30分も休む…。 …降ってくる灰が耳や鼻や口の中に入り、息をするたんびにあごにはりつくのです。水が欲しい、水が欲しいと思いながら6時間ばか下りて(といっても200mぐらいしか進んどらんのです)道らしきものに辿りつきました。

朝になると、もうれつな睡魔に襲われました。ねむれば死んでしまうので、全身の力を両手にかけて、いざっていくだけです。そのたびに血が頭や顔や手からにじみ出るのです。後になって「上條さん、これだけのケガだと出血で死んでるはずだけど、硫黄のせいで助かったね、硫黄が血をくい止めたんだ」と言われまして、なるほどと思いました。頭の傷だけでも硫黄出しに 10 日もかかるほど硫黄がつまっとて、それが出血を防いでくれたわけです。のどが焼けついて痛いので、手当たり次第に湿った土をほおばったり、笹のつゆを吸ったり、ワラビをかんだりしました。その後も弱い気持になっていく自分と戦い続け、爆発から 16 時間、距離にして 5km を経て神通川砂防工事作業所にたどり着きました。





以上が、村の記録と被害者の話を参考にしたものですが、この時の村の対応の素早さには 感心します。そして、被害者が山で体験から学んだ知識・意志の強さには驚かされます、

大正 4 年 (1915 年)6 月の噴火から、昭和 37 年 (1962 年)6 月の噴火までが 47 年、昭和 37 年の噴火から今年までが 48 年です。素人考えでは約 50 年周期で何かが…、などと思うのは私だけでしょうか、いずれにしても少しでも多くの知識を自然から学び、それを色々な方面に活用していかなければならないと思います。さぁ、今日も山へと出かけるとしましょうか。

## やってみて!野外レシピ

### ○●皮から手づくり!絶品手づくり餃子○●





### 具材をつくる(今回は、蕗味噌餃子をご紹介!)

- 1. とっておきスポットで、フキノトウを採る
- 2. ざく切り(あまり細かくない方がおいしい)にしたフキノトウを油でいためる
- 3. 味噌と砂糖を加え、冷ましておく







### 皮をつくる(約60枚分)

- 4. 中力粉(300g)に、塩をひとつまみ溶かしたお湯(約 180ml)を少しずつ加え 耳たぶくらいの滑らかさに捏ねる
- 5, 時間があれば、ラップをして1時間くらい休ませる
- 6. 打ち粉をした台に、ピンポン玉くらいにちぎった生地を置き、丸く伸ばす ※生地を伸ばす時に、10センチ程度に切った竹をのし棒代わりに使うと good!
- 7. 生地に蕗味噌とキャンディーチーズを包み、焚き火で熱しておいた鉄板で焼く
- 8. 焚き火で熱しておいた鉄板に並べ、焼く (中身はそのままでも食べられる具材なので、表面が焼ければ OK)
- 9. あつあつを、みんなでわいわい、はふはふ言いながら食べる

### イベント情報

#### やまぼうし自然学校の会員の方は・・・

◆長野本校イベント 毎回参加費50%割引(半額!)

◆首都圏イベント 毎回参加費10%割

さらに、3回参加で次回50%割引

東京支部

長野本校

長野本校

### ♪ 高尾自然観察会 ♪

ミシュラン3星の高尾山! 裏高尾の峰主・景信山(727m) に登る中級ハイキングです

日時 7月10日(土) 小雨決行 集合場所 JR線 高尾駅北口 9:00

参加費 参加費 3,000円(往復バス代 別途自己負担)

定員 30名

内容 小仏バス停〜景信山〜小仏峠〜小仏城山〜日影沢林道〜日影バス停

※景信山頂~小仏峠~旧甲州街道を辿り、小仏バス停に戻るビギナーコースも設定

当日のコンディションにより現地でお選びいただけます

### ♪ サマーキャンプ in 信州 菅平 ♪

菅平の森を、沢を遊びつくす、とっておきの4日間! ※キャンプは会員割引対象外

日時 7月17日(土)~8月25日(水)の期間中、3泊4日 12コース

※2 コース連続参加で6 泊7日のコースとすることも可能

活動場所 上田市菅平高原

集合解散 新宿駅西口、または菅平高原

対象 小学 1~6 年生

料金 49,500円(菅平高原集合解散の方は40,500円)

定員 各コース 30名

内容 メニューから考える焚き火料理、たっぷり森遊び、五右衛門風呂、沢遊び

テント泊(1泊:他の2泊は宿泊施設泊)

申込締切 8月7日までのコース・・・7月5日(月)

8月7日以降のコース・・・7月27日(火)

申込み ■2010 サマーキャンプ in 信州受付デスク

■長野県学習旅行誘致推進協議会ホームページ

http://www.naganoken-gakushuryoko.net/summercamp10

### ♪ やまぼうし自然学校 原人キャンプ ♪

菅平原人になって、森で生きる知恵を身につけよう! ※キャンプは会員割引対象外

∃時 8月10日(火)~13日(金)3泊4日

活動場所 長野県上田市 菅平高原 一帯

集合解散 池袋駅東口、または菅平高原

対象 小学1~6年生、中学生

参加費 39,000円(菅平高原集合解散の方は30,000円)

定員 30名(先着順)

内容 原人グッズづくり、豪快焚き火料理、森遊び、沢遊び、五右衛門風呂

テント泊(3泊)、原人まつり

※全日程テントに泊まります(天候によっては宿泊施設泊に変更)

※天候等により、内容は変更する場合があります

### ♪ 秋の森散策とパステル画体験 ♪

彩豊かな森を散策したら、パステルで表現する楽しさを体験しましょう

日時 9月18日(土)10:00~15:00

集合場所 上田市菅平高原 やまぼうし自然学校事務所

参加費 参加費 2,000円

※パステル画資材費など含む

定員 20名

申込締切 9月15日(水)

### ♪ 秋の森遊び と 焚き火料理 ♪

秋の森の恵みを楽しむ、親子デイキャンプ

日時 9月23日(木・祝)10:00~15:00

活動場所 上田市菅平高原 自然体験の森

参加費 大人 1,800 円、小中学生 1,000 円、幼児 無料

(食費、指導料、資材費など)

※昼食は豪快焚き火料理をみんなで つくりますので、必要ありません

定員 親子 20 組 申込締切 9月 18日(土)



長野本校

長野本校

### ♪ 秋の里山登山 ♪

気軽に登れる里山を、自然観察をしながらゆったり楽しみます

日時 9月25日(土) 9:00~15:00(予定)

場所 上田市内または周辺の里山

参加費 2,000円

※おやつ付き(昼食はご持参ください)

定員 20名 申込締切 9月22日(水)

2123 1 12

長野本校

### ♪ 鎌倉自然観察会 ♪

首都圏近郊の、ちょこっと自然観察会。身近な自然の秋の彩を楽しみましょう。

日時 平日コース 9月30日(木)

週末コース 10月2日(土)

集合場所 JR 線鎌倉駅東口 みどりの窓口 9:00

参加費 参加費 大人 3,500 円 (拝観料込み、バス代別途自己負担)

定員 30 名

内容 眺望抜群!鎌倉アルプス散策と仲秋の寺院庭園の花々観賞

申込締切 平日コース 9月 27日(月)

週末コース 9月 29日 (水)



東京支部

## 3, 4, 5月の実施事業

#### ■事務局

チーム腹時計(3月10日、4月12日、5月10日 長野)

#### ■おーい!森 講座・森を楽しむ講座

ガイダンス(3月3日 東京)

おーい! 森 講座(3月20日、21日、4月10日、11日、5月22日、23日 長野) 森を楽しむ講座(3月27日、28日、4月17日、18日、5月22日、23日 東京)

#### ■体験学習

私立幼稚園(3月27日) 我孫子二階堂高校(4月22日)、麹町学園(5月9日) 大田区立おなづか小(5月12日)、大田区立入新井第二小(5月12日)、板橋区立志村第一中 (5月14日) 西東京市立住吉小(5月19日)、明治大学附属明治中(5月26日、27日、28日)、 流山市立南部中(5月30日)、豊明小(5月27日)

### ■森でもりもり遊び隊/フォレストキッズ

雪の家づくり(3月21日 遊び隊)、2010年度事前説明会(4月23日 遊び隊)、 アイスブレイクゲーム(5月1日 フォレストキッズ)ネームプレートづくり(5月9日 遊び隊)、 日和田山登山(5月29日 フォレストキッズ)

### ■イベント

スノーシューハイキング(3月6日 長野)、いつでもガイド(3月6日、3月7日 長野) 親子で巣箱づくり(3月13日 長野)

スノーキャンプ in 信州 (3月26~29、3月29~4月1日 長野)

やまぼうしウインターキャンプ (3月30日~4月2日 長野)

世田谷自然観察会(4月1日、4月3日 東京)十ノ原森林整備と窯焼きピザ(4月3日 長野)、 池田まさ子パステル画展(4月18日~5月11日 長野)

焚き火料理と春の森遊び(4月25日 長野)、大人の炭焼きキャンプ(5月1日~3日 長野)、森の春探しと山菜パーティー(5月8日 長野)、奥武蔵自然観察会(5月15日 東京)、パステル画と語り部(5月30日 長野)

#### ■委託

黒川野外活動センター 黒川森林ボランティア(3月7日、4月4日、5月8日 東京) 千曲川流域学会トークセッション(3月13日 長野)

黒川野外活動センター主催イベント運営協力(3月22日 東京)、東京アースデイ出展(4月18日 東京)、みどりフェスタ(4月29日 東京)、スクールツアーシップ ライオンキャンプ (5月1日~4日 長野)、ワンパク大学(5月11~13日、5月19~21日 長野)、上田市植樹祭(5月15日 長野)、上田広域連合親子ふれあいトレッキング(5月29日 長野)



「箱舟」 池田まさ子・画 パステル